

産業廃棄物処理計画書	
令和4年 4月18日	
豊橋市長 殿	
提出者	
住所 愛知県豊橋市磯辺下地町字葭山7番地	
氏名 原松建設株式会社 代表取締役 原 哲夫	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0532-46-3188	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	原松建設株式会社
事業場の所在地	愛知県豊橋市磯辺下地町字葭山7番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06：総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高：89,696万円
③ 従業員数	19人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事 舗装撤去：がれき類(アスファルトがら)→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 汚泥→再生処理業者に委託して脱水し、造粒固化後その全量を再生改良土に再資源化 構造物撤去：がれき類(コンクリートがら)→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して破碎後、燃料として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託して圧縮後、製鋼原料として再資源化 ガラス・陶磁器くず→中間処理業者に委託して破碎後、埋立処分 混合物→中間処理業者に委託して破碎後、埋立処分 道路支障物撤去：木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 紙くず→再生処理業者に委託して破碎後、再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

代表取締役社長 原 哲夫  
|  
工 事 部 土 木 課 ( 廃 棄 物 処 理 統 括 責 任 者 ) 丸 山 弘 之  
|  
工 事 現 場 管 理 責 任 者 ( 産 業 廃 棄 物 管 理 責 任 者 )  
|  
├ 各 工 事 下 請 業 者  
└ 各 産 業 廃 棄 物 処 理 業 者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまで実施した取組) ・ 舗装撤去において、がれき類(アスファルトがら)、がれき類(コンクリートがら)積み込み時土砂の混入がないよう気をつける。 ・ 丁張り材はなるべく再利用して木くずの排出を抑える。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も同上の取組を続けていく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 資材置き場がれき類(アスファルトがら)、がれき類(コンクリートがら)、金属くず、廃プラスチック類、木くずの仮置き場を設置し、分別保管している。 ・ 事務所に汚泥、金属くず、混合物の保管場所を設置し、分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 特に予定していない。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定していない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定していない。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・各工事現場ごとに建設廃棄物処理委託契約を交わし、事前実地確認を実施している。 ・委託契約後も定期的に実地確認を行っている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



